

・農地系

生産緑地地区は北部に点在しており、周辺の公共施設やオープンスペース等と一体となった市民のレクリエーションの場としての活用が求められている。



学校に隣接する生産緑地

○公園整備状況

都市計画決定された都市公園は、一部の街区公園を残し整備済みだが、一部では公園が不足している地域がある。また、老朽化した公園のリニューアルや、既存の公園のネットワーク化など、さらなる質の向上を図る必要がある。



桜ヶ丘公園



山本町北第1公園

○都市計画道路整備状況

一部の都市計画道路は整備を完了しているものの、東大塚中央線等の未整備都市計画道路がある。快適な歩行空間及び災害時に安全に通行できる避難路等の機能を確保するためには、道路整備とあわせて、街路樹等による緑化推進を図る必要がある。



横根上厚線



主要地方道八尾茨木線アプトロード

○河川・水路、ため池分布状況

玉串川、旧橋根川の水辺環境を活用したうるおいのある地区景観の向上が必要である。



旧橋根川緑地



水路沿いの緑化

○歴史文化資源

市域の中心で市街化が進む中で、近鉄八尾駅周辺に市指定文化財の環山楼や国の登録有形文化財の桃林堂などの建造物などが集中しているものの、案内標識は不足している。また、常光寺、矢作神社、西郡天神社、御野郡主神社など歴史と緑を有する社寺が点在している。これらをつなげるための主要駅からの散策ルートの整備が必要である。



穴太神社

○主要公共施設

小学校や中学校、コミュニティセンター、近鉄八尾駅等の公共施設の緑化が進められているが、地区全体としての緑の量、質の向上が必要である。



近鉄八尾駅

2) 地区緑化の基本方針

■地区緑化の基本的な考え方

内部は、市民の主体的活動などにより良好な緑空間が形成されている箇所が多い（花壇、プランター等による民有地緑化など）。しかし、外部（工場地域）の緑と水のネットワークが遠んでいないため、周囲からは魅力的な地区として捉えられない現状がある。

そこで、市民により形成された内部の緑の線を外部へリング状に広げてゆき、ネットワーク化することで、外部環境の緑化を進め、より魅力的な緑環境をもった地区を形成する。

■テーマの設定

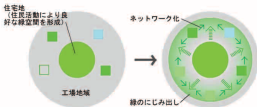
地区緑化のテーマを次のように設定する。

【八尾中央地区の緑化テーマ】

～市民が育てた緑をまちの顔にする緑のまちづくり

（緑のにじみだし効果によるまちづくり）～

- 身近な顔いのある公園や遊歩道となる公園をリニューアルなどにより充実を図る。
- 緑あふれるうるおいのあるまちづくりを目指して工場などの民有地の緑化を推進する。
- 地域の暮らしの中に緑を引き込むため、身近な公園やポケットパーク、河川・水路をネットワークし、身近な自然とのふれあいの場を充実させる。



■基本方針

保全、再生計画

- ・地区内の良好な樹林地は、所有者と調整し、市民緑地等の制度の適用も検討し、保全を図る。
- ・貴重な市街地内緑地であり、地域を特色づける社寺境内地の古木、巨木を「保全樹木・樹林」として保全に努める。
- ・玉串川、楠根川は生き物の生息環境を支える緑の骨格として、その河川環境を保全する。
- ・緑地の保全に配慮を加えるべき地区を設定し、緑地の保全施策を定める。

整備、確保計画

- ・公園が不足している地域の解消に努めるため、空地などを確保して街区公園などの身近な公園の整備に努める。
- ・公園の老朽化に対応するため、ワークショップ方式による公園のリニューアルを検討する。
- ・浸水被害を防止するとともに、平常時には緑地やスポーツゾーンとして利用できる思智川治水緑地（思智川遊水池）の整備を進める。
- ・土地区画整理事業が進められた地域では、良好な住宅環境の形成を図るとともに、身近な公園の確保に努める。
- ・地区内の公園や緑地等を、道路や河川、水路等を活用してネットワークさせることで、市民のレクリエーションネットワークを充実させる。
- ・関連部局と調整しながら、幹線道路の緑化を推進する。
- ・公共施設施設では、接道部の緑化、駐車場の緑化などを進める。

育成、管理計画

- ・市民ボランティアによる公園の維持管理、運営を推進する。
- ・玉串川沿道の良好な住宅地においては、市民の活動を行政が支援しつつ、民有地の緑化を推進する。
- ・緑ヶ丘等の住宅地では、市民が主体となった地区計画等の活用により、良好な住環境の形成を図る。
- ・土地区画整理事業等によって市街化が図られた地域においては、市民が主体となった庭木、生垣、花等による緑化及び維持管理の促進を図る。
- ・工業集積地については周辺環境に配慮しつつ、大阪府みどりの基金等を活用し、工場緑化を行う。